



日本防災士会広島県支部会報



第11号 平成21年4月1日

日本防災士会広島県支部活動報告

3月7日京都大学防災研究所で開催された「防災研究フォーラム」を聴講しましたので報告します。

<http://www.dprf.jp/sympo/20090209/>

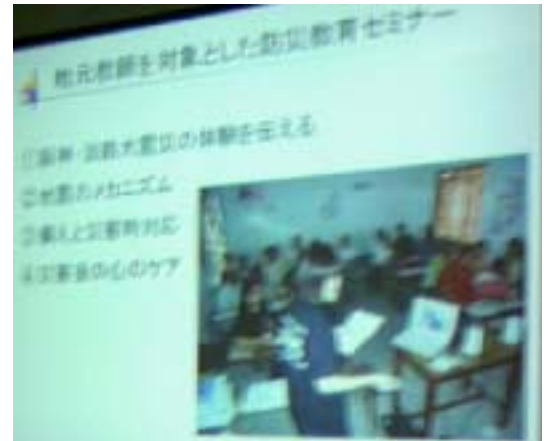
フォーラムの第1部「アジアでの巨大災害調査報告」では、2007年バングラデシュ高潮水害、2008年ミャンマーでのサイクロン・ナルギスによる高潮災害、2008年中国四川省の巨大地震と地震災害地震調査の概要、短期の課題・長期の課題、中国・四川大地震に対する社会的反応と社会科学的調査報告がありました。

午後からは、文部科学省の竹上直也氏から、地震調査研究推本部が目指すこれからの10年 - 「新たな地震調査研究の推進について」の策定についての講演がありました。

第2部の「日本での最近の災害調査報告」では、2008年岩手・宮城内陸地震災害、2008年都賀川ゲリラ豪雨における河道内流況と流量の推定等近年の地震被害の特徴や、豪雨になると一挙水位が上昇し、流速がますますVTRから流速を計測することが、紹介されていました。

第3部の「アジア型巨大災害に挑む」では、京都大学の河田 恵氏の「アジア型巨大災害の変貌」基調講演に続いて、「巨大地震・津波による被害の軽減に向けて～アジアでの取組～」、「アジア地域における火山災害の軽減をめざして」、「近年のアジアの風水害の特徴とその対策」、「バングラデシュでの感染と気象災害」の報告に引き続いて、「持続可能な防災教育の展開」とのタイトルで、舞子高校を卒業後立命館大学に通いながら「国際防災教育支援団体SIDE」の活動をしている中野 元太さん <http://ndys.jearn.jp/ja/ob&og.html> と諏訪 清二先生（兵庫県立舞子高等学校）の防災教育の実情について、詳しく解説してもらいました。

平成21年度には黄檗キャンパスに300人規模のホールが誕生します。一度防災研を訪ねられてみてはいかがでしょうか。



防災教育セミナーの紹介



食堂前には、地震火山活動のリアルタイム表示がされていました。

【今後の予定】

- 4月 8日(水) 18時～19時30分 平成21年度事業計画打合せ 広島市ひとまちネットワーク
- 4月 18日(土) 10時～12時 平成21年度広島県支部総会 広島市東区民文化センター
- 6月 5日(土) 「広島県土砂災害防止月間県民の集い」
- 2-5日 日本防災士会広島県支部防災士会パネル展示 広島市西区民文化センター